

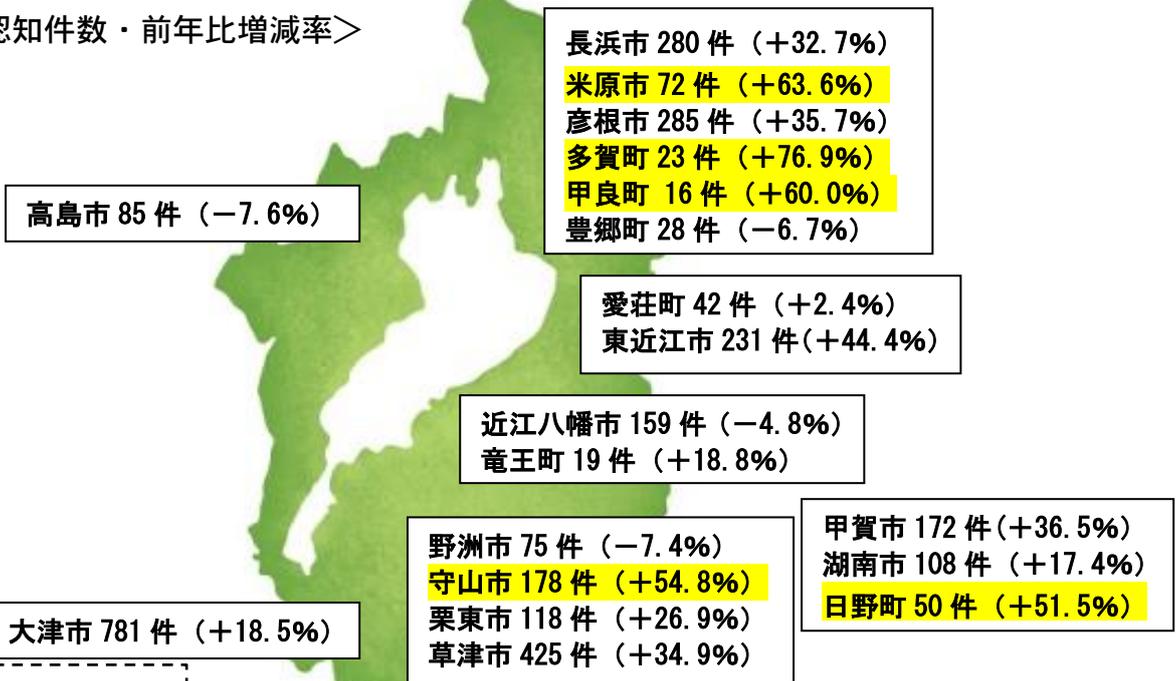
令和5年5月末の犯罪発生状況



令和5年6月13日
(公社) 滋賀県防犯協会

県内の刑法犯認知総数 3,164件 (前年比+632件 +25.0%)

<各市町の認知件数・前年比増減率>



<犯罪率>

人口1万人当たりの刑法犯認知件数

県平均 22.4件より高い市町

- ① 豊郷町 38.6件
- ② 草津市 31.0件
- ③ 多賀町 30.6件
- ④ 彦根市 25.5件
- ⑤ 長浜市 24.2件
- ⑥ 甲良町 23.9件
- ⑦ 日野町 23.6件
- ⑧ 大津市 22.7件

※全国平均 21.6件

<前年比・増加犯罪>

(増加件数順6位まで)

- ① 自転車盗 507件 (+122件)
- ② 詐欺 314件 (+106件)
- ③ 万引き 496件 (+49件)
暴行 173件 (+49件)
- ④ 車上ねらい 165件 (+46件)
- ⑤ 器物損壊 269件 (+37件)
- ⑥ 払出盗 39件 (+35件)

※窃盗犯 2,031件 (+421件)

<多発犯罪> (150件以上)

- ① 自転車盗 507件 (+122件)
- ② 万引き 496件 (+49件)
- ③ 詐欺 314件 (+106件)
- ④ 器物損壊 269件 (+37件)
- ⑤ 暴行 173件 (+49件)
- ⑥ 車上ねらい 165件 (+46件)

※非侵入窃盗 1,269件 (+249件)

特殊詐欺の発生

- ・5月中の発生は26件(前年比+17件)、被害総額は約1,655万円(前年比+約252万円)。
- ・高齢者(65歳以上)の被害は14件(全体の53.8%)、約853万円(全体の51.5%)
- ・手口内訳 オレオレ1件、架空料金請求10件、預貯金8件、金融商品2件、カード窃盗2件など

新しい手口 覆面調査のアルバイトを騙った特殊詐欺(同種事案が2件発生)

携帯電話に実在する求人情報サイトから「覆面調査のアルバイトをしませんか」と電話がある。アルバイトを承諾すると

- 「消費者金融のオペレーターの対応状況を調べる。融資データは削除するので借り入れしたことにならない」と説明し、融資契約を結ばせる。(実際には融資データは削除されることなく融資を受けることになる)後日融資を受けた金は金融機関の対応状況の覆面調査と偽って、犯人が管理する口座に送金させる。
- 「アップル社のコールセンターに電話をして、アップルギフトカードを購入する際のオペレーターの対応状況を調べる」と偽ってカードを購入させる。購入したカードのコードを犯人に伝えさせだまし取られる。

キャッシュカードをすり替えるキャッシュカード詐欺盗

百貨店店員から「カードが不正に使用されています」

⇒警察「あなたの口座が悪用されている」「キャッシュカードを再発行した方がいい」

⇒銀行協会「キャッシュカードを交換するので用意して待っていてほしい」

⇒自宅に来た銀行協会を名乗る者から「キャッシュカードは封筒に入れる」「割印をするので印鑑を持って来てほしい」⇒被害者が少し目を離した隙にキャッシュカードがすり替えられている。

キャッシュカードの交換や再発行と言われたらゼツタイに詐欺!暗証番号を教えない!渡さない!